

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ボンプロン水性AC下塗Ⅱ

種類: シラン系浸透性吸水防止材

製造会社

会社名: AGCコーテック株式会社

住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門: 技術本部 CSR室 江澤 孝行

電話番号: 03-5217-5104

FAX番号: 03-5217-5106

緊急連絡電話番号: 03-5217-5104

整理番号: 3020030102506

用途: 建築用、その他

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性:

急性毒性—経口 : 区分外

急性毒性—経皮 : 区分外

急性毒性—吸入・蒸気 : 区分外

急性毒性—吸入・ミスト : 区分外

環境有害性:

水生環境有害(急性) : 区分外

水生環境有害(長期間) : 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:

注意喚起語:

危険有害性情報:

注意書き:

### 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分: 混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法		毒劇法	PRTR法
			表示対象物質	通知対象物質		
水	7732-18-5	65~75	—	—	—	—
シラン化合物	非公開	25~35	—	—	—	—

### 4. 応急措置

皮膚に付着した場合:

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

- ・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 水と石鹼で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合:

- ・ 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合:

- ・口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤:

- ・粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、水噴霧

使ってはならない消火剤:

- ・棒状注水

特有の危険有害性:

- ・火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性ガスを発生するおそれがある。
- ・加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法:

- ・消火活動は、有効に行なえる最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消化を行なう者の保護:

- ・消火作業は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護具措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- ・適切な防護衣を着けていない時は、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはならない。

環境に対する注意事項:

- ・環境に放出してはならない。
- ・河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
- ・危険でなければ漏れを止める。
- ・蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。
- ・少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
- ・除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
- ・少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
- ・乾燥した土、砂あるいは不燃物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。
- ・物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れる。

二次災害の防止策:

- ・全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
- ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

- ・『8. ばく露防止及び保護具措置』に記載の設備対策を行ない、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項:

- ・取扱い後は、よく手を洗うこと。
- ・飲み込みを避けること。
- ・皮膚との接触を避けること。
- ・ガスの吸入を避けること。
- ・ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

接触回避:

- ・『10. 安全性及び反応性』を参照。

衛生対策:

- ・取扱い後は、よく手を洗うこと。

保管:

安全な保管条件:

- ・保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。
- ・『10. 安全性及び反応性』を参照。
- ・酸化剤から離して保管する。

安全な容器包装材料:

- ・ 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
- ・ 消防法で規定されている容器を使用する。
- ・ 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・ 換気装置は必要としない。
- ・ 特別な制御は不要。

保護具:

- ・ 情報なし

---

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 液体(エマルジョン)
色	: 乳白色
臭い	:
pH	:
融点/凝固点	:
沸点、初留点、沸騰範囲	:
引火点	: 引火せず
自然発火温度(発火点)	:
燃焼性(固体、ガス)	:
燃焼または爆発範囲の上限/下限	:
蒸気圧	:
蒸気密度	:
蒸発速度	:
比重(相対密度)	:
溶解度	:
水に対する溶解度	:
水に対する溶解性	: 水に分散
溶媒に対する溶解度	:
溶媒に対する溶解性	:
オクタノール/水分配係数	:
分解温度	:

---

10. 安定性及び反応性

安定性

- ・ 常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性:

- ・ 水との反応性はない。

避けるべき条件:

- ・ 5℃以下、40℃以上になるおそれがある場所での保管は避ける。

危険有害な分解生成物:

- ・ 燃焼等によりCO、NOX等の有害ガスが発生する恐れがある。

---

11. 有害性情報

急性毒性: 情報なし

---

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(慢性)	データなし
生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 廃棄物の処理を委託する場合は、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器および包装:

- ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

消防法: 非危険物

16. その他の情報

引用文献:

- ・ ラベルおよび表示・安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
- ・ 日本産業衛生学会
- ・ ACGIH
- ・ IARC
- ・ RTECS
- ・ 既存化学物質安全(ハザード)評価シート 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

その他:

- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・ 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。